

©ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「松竹梅」

突然ですが、情報が多すぎて疲れることはありませんか？

ネット検索はとても便利で、もはや、生活から切り離して考えられないほど利用されています。無かった時代は、自力で見つけることができないため、実際に赴いていたり、人に聞くことで「探し物（調べもの）」を見つけたものです。いまは、一発検索で一発解決。と、いいたいところですがそうでもないようです。

例えば、旅行に行こうと思って、ネット検索すると該当件数が十万件以上。地域や条件を指定してさらに検索。少々、減りましたが、それでもまだまだ結果が表示されず。ひとつの会社でも山のようにあるツアー。他社も含めて比較したら一晩中かかりそう。ようやく決めても、心の中には「本当にそれでよかったのか、もっと検索すれば他にいいツアーがあったのではないか？」そんな気持ちになってしまうことはありませんか？ これでは、楽しいはずの選択も、そうではないものとなり満足感が失われてしまいます。

ご存じのとおり、GOOGLEは、単語検索だけではなく、音声検索もできるようになっています。でも、その結果が膨大な数だと単語検索と変わりません。表示される情報が個々にとつてどこまでマッチしたものになるのか、GOOGLEはAI技術での改良をますます加速していくそうです。今後はもっと自分に合った絞り込まれた検索結果に期待したいと思います。

さて、日本には昔から「松竹梅」という選択の仕方があります。3つしかないの？と感じることもありますし、案外、すんなりと選べたりすることもあります。もちろん、商品やサービスにもよるのですが、選択肢がたくさんあることは本当に幸せなことの良いことなのでしょうか？

自分の選択に満足できる、納得できるという人にとっては良いことなのだと思います。迷ってしまう、決断できない、決断しても後悔してしまふ、そんな方にとっては少々大変なことです。私もそんな一人です。以前、ワイシャツを購入しようとして店に行くと、たくさんのデザインのの中から選んでいくと選択に疲れてしまうようなときがありました。そこで、ある日からカラーやデザインを絞り、その中で選ぶようにしました。そうするとあまり迷うこともなく、後悔することもなくなりました。あとから知ったのですが、3つから5つくらいの選択肢がストレスなく決められる範囲だそうです。「松竹梅」と共通するものがあるのかもしれないですね。

このように考えるとお客様にとって、面倒にならない、楽な判断をしてもらうような営業活動も必要だと思います。サービスや商品をわかりやすくグループにわけてみたり、お客様が選びやすいような工夫も大切です。そして、お客様から何らかの情報を得られるチャンスがあるならば、その情報を元に、こちらからお客様の求めるものを提供することができれば商品やサービスの「提示」ではなく「提案」になると思います。（これが非常に難しいのですが）

私たちは常に選択をしながら生活しています。楽しい選択、難しい選択、どちらを選んでも憂鬱な選択 etc…。選択に妥協や後悔はつきもの。そんな開き直りも時には必要なものかもしれません。

ご案内

■ラップニュース読者の皆様へ。
ラップニュース バックナンバーは
ホームページからご覧いただけます。

<http://www.raptokyo.co.jp/>

※アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。

ホームページの運営で 気になることはありませんか？

- ・スマホ対応って？
- ・文章と一緒に考えてほしい
- ・写真やテキストを変えたい
- ・情報を更新したい
- ・ページを増やしたい(減らしたい)
- ・採用ページを作りたい… etc

お気軽にお問合せください。

TEL: 042-349-3535
(担当：田島まで)

